

平成29年度第1回部門理事会・評議員会合同会議および定時総会の開催について

平成29年度第1回部門理事会・評議員会合同会議について

5月26日、経団連会館にて平成29年度第1回産業ガス部門理事会・評議員会合同会議を開催しました。冒頭、間会長より昨年度の活動内容や今後の業界を取り巻く動向等について挨拶があり、その後、理事および評議員候補者の選任の件、入会希望事業者等審査の件などすべての議題が全会一致で承認されました。

定時総会開催について

6月14日、経団連会館にて部門総会・定時総会を開催しました。午前に会長記者会見を開催し、午後はセミナー、第2回理事会、定時総会、第3回理事会および懇親会を行いました。

セミナーは矢原副会長(技術・保安部会)の挨拶で開始し、150名を超える方々が聴講されました。テーマは①「水素スタンドプロジェクト進捗状況」(JIMGA 相馬 一夫氏)、②「医療ガス容器保安対策の推進」(JIMGA 福盛 康宏氏)、③「封キャップの開発」(大陽日酸(株) 中島 昭人氏)、④「JIS改正(酸素・アルゴン)」(日本エア・リキード(株) 三好 伸二氏)、⑤「高圧ガス保安法関連改正内容について(平成28年11月・平成29年4月改正概要)」(JIMGA 大沼 倫晃氏)の5件で講演が行われました。

部門総会・定時総会では間会長の挨拶があり、部門総会における各部門の評議員候補の承認と、定時総会において、事業報告および収支決算、事業計画および予算(案)、評議員・理事選任についての議案が承認されました。表彰式では、当協会の活動において大きな成果をおさめた産業ガス部門および医療ガス部門のワーキンググループおよび事業所等への各功労賞・安全賞が発表され、会長より表彰状と記念品が贈られました。(受賞者一覧をP2~3に掲載)

懇親会には約300名が出席し、盛大に開催されました。会長の挨拶に続いて、厚生労働省神

田局長、経済産業省佐藤審議官、ならびに高圧ガス保安協会市川会長による来賓挨拶、今井副会長の乾杯で始まりました。和やかに懇親会が進み、鈴木副会長の中締めによりすべての催しが滞りなく終了しました。皆様のご挨拶は、9月末発行の「産業ガスレポート秋号」に掲載予定です。

(広報委員会事務局 石原 智子)



間会長挨拶



受賞者の皆様

JIMGA平成29年表彰受賞者一覧 <産業ガス部門>

賞区分	表彰候補者	表彰理由
標準化 功労賞	保安対策 WG 八幡 剛史 (WG 長)、 矢内 敏彦、加藤 保宣、 土屋 茂、木村 直彦	高圧ガス関連法案（新認定事業所制度）の改正にあたり、自主保安高度化事業所制度構築について、産業ガス業界にメリットのある制度となるよう要望を取りまとめて提言するなど貢献した。
	化学品安全 WG 平野 正 (WG 長)、 桑野 晃一、武内 幸祐、 長谷川光一、堀内 武浩、 宮崎 和之、三好 伸二	酸素及びアルゴンの JIS 改正にあたり、酸素純度分析計校正用の国家標準の高濃度酸素標準ガスを規格化、アルゴンについてはガス中の窒素測定法として、プラズマ分光分析式窒素分析計による方法を追加した。
	規制改革 WG 野澤 史和 (WG 長)、 外山 憲一、倉田 克哉、 浦谷 明弘、曳地 項次、 久保田裕士、末松 寿、 日比 勝巳、井口 充弘	長年にわたり規制改革案件として取り組んできた毒性ガスの定義見直しについて、所管官庁と直接意見交換を行い、業界の意見が反映されて改正が成立した。事前に改正の影響を確認したため、業界への影響を最小限とした。
地域活動 功労賞	市村 博 (市村酸素(株))	関東酸素工業会、日本産業ガス協会、日本産業・医療ガス協会と、平成 11 年から長年にわたり地域本部の委員長、副部会長、地区代表者、幹事等を務め、地域活動に多大な貢献をした。
	福井 雅則 (高圧ガス工業(株))	中国地域本部の技術・保安部会、企画部会、及び傘下の WG を 15 年以上にわたり熱意をもって牽引した。また他団体の講習会講師や、防災訓練の企画・指導にあたり、地域の技術リーダーとして範となっている。
安全賞	株式会社工藤酸素店	28 年間無事故無災害を継続し、全社で保安意識を高め、高圧ガス製造所の保安、輸送時の事故撲滅運動、防災訓練を実施、東北 6 県での地域活動の功績は大きい。
	株式会社鈴木商館 生産部千葉工場	30 年間無事故無災害を継続し、地域の保安防災活動にも積極的に参加するとともに全工場一丸となって保安技術の知識や技能向上に努めている。
	大陽日酸株式会社 中部支社幸田ガスセンター	22 年間無事故無災害を継続し、安全意識の浸透・徹底、ユーザーへの保安関連情報の提供、C-TPM 活動の推進により、未然に事故を防止している。
	大陽日酸株式会社 中部支社三重ガスセンター	29 年間無事故無災害を継続し、安全最優先文化の浸透と徹底、指差呼称の励行や危険予知活動を実施するなど本質安全活動を実践している。
	直江津アセチレン株式会社	42 年間無事故無災害を継続し、社内保安技術の向上に努め、地域の保安活動の模範となっている。
	高松帝酸株式会社 多度津事業所	21 年間無事故無災害を継続し、ヒヤリハットや危険予知活動の推進を行い、各ユーザーへ講習会を開催するなど保安活動に貢献した。
	株式会社延岡高圧ガスセンター	46 年間無事故無災害を継続し、事業所内で安全教育に積極的に取り組むとともに保安意識の向上に努めている。

受賞総数：12件、受賞対象者：23名+受賞事業所：7事業所

JIMGA平成29年表彰受賞者一覧 <医療ガス部門>

賞区分	表彰候補者	表彰理由
業務 功労賞	MGR 試験委員会メンバー 大岡 光寿、小泉 和夫、 平林 敏彦、四ノ宮成祥、 野寺 誠、吉岡 早戸	MGR 制度の創設時から、制度の確立、講義内容の充実、認定試験の公平性の担保に尽力、10年目を迎え医療ガス部門の事業の大きな柱になっている MGR 制度の基盤整備・発展に貢献した。
	容器保安対策指針推進 WG 伊達 恒雄 (WG 長)、 田中 康宏、戸崎 剛、 長谷川弘毅、大竹 清、 北山 敏彦、高橋 進、 藪本 学、杉村 明宏	医療ガス容器の保安管理の徹底に関して「医療ガス容器保安対策指針」の実効化に向けて、「納入月ラベル」「啓発チラシ」「容器貸借契約ひな形」等のツールを準備し、容器管理指針や容器誤認防止策と連動したキャンペーンなど具体的な推進策を策定した。
	MGR 委員会 川井 幸輔 (WG 長) 大岡 光寿、中島 昭人、 江場 大二、藤田 進、 河島修一郎、丸小 和寿、 加藤 俊康、大塚 太郎	MGR 育成の教育研修活動を継続、3年ごとに研修テキストの改訂を行い、MGR を卸売販売業の営業所管理者の資格要件に認定してもらう活動を展開した。
標準化 功労賞	品質標準書改訂 WG 西本 敬輝 (WG 長)、 森山 秀樹、長谷川弘毅、 長谷川正泰、古賀 孝之、 早坂 一隆、北村 一巳、 岡村 和也、伊達 恒雄	平成 28 年改訂の「医療用ガスに関する製造管理及び品質管理の基準」との整合性を図るため、局方酸素等の「品質標準書」(9 種類)・「製造委託」(9 種類)の改訂に着手し、品質標準書類の改訂版を公開した。
災害 功労賞	九州地域本部熊本県支部 ^(※) 代表：熊本医療ガス(株)	平成 28 年 4 月に発生した熊本地震に際して、自ら被災したにも関わらず医療機関の医療ガス設備の保守点検、在宅酸素患者の安否確認と酸素供給等に万全を期し、行政からも深く感謝された。
地域活動 功労賞	渋江 幹男 (中・四国エア・ウォーター(株))	20 年以上にわたり中国地域本部副本部長と岡山支部長を務め、県との災害時協定締結にも尽力した。
	岩切 充弘 (宮崎酸素(株))	20 年以上にわたり九州地域本部長を務め、その間協会の副会長・評議員の要職も兼ね、MGR 制度の創設、各県との災害時協定の締結などに尽力した。
安全賞	福島酸素株式会社	69 年間無事故無災害を継続、東日本大震災時には医療ガス搬送、流失容器の回収処理等に尽力、東北六県広域救援協定にいち早く基金拠出を行った。
	岡谷酸素株式会社 松本営業所	25 年間無事故無災害を継続、以前に経験した大地震の再発に備えて医療用酸素充填機能の確保手段を整備し、県内の中核拠点となっている。
	相模アイ・ジー・エス株式会社	20 年間無事故無災害を継続、ヒヤリハットの抽出を始めきめ細かい安全活動を実践している。
	サカキ産業株式会社 富山総合ガスセンター	41 年間無事故無災害を継続、社内保安技術の向上に努め、地域の事故防止活動をリードしている。
	株式会社大和サンソ	36 年間無事故無災害を継続、社内の安全教育を徹底し、地域の保安活動の範となっている。

※ 九州地域本部熊本県支部：熊本医療ガス(株)、(株)アコー、(資)天草酸素、イワタニ熊本ガスセンター(株)、内村酸素(株)、(株)鶴城サンソセンター、九州エア・ウォーター(株)、熊本酸素(株)、クロックス(株)、大陽日酸(株)、日本エア・リキード(株)、日本ガスケミ(株)、(有)濱野産業、福岡酸素(株)、(有)ミズノ、吉住酸素工業(株)

受賞総数：12件、受賞対象者：35名＋受賞社：16社＋受賞事業所：5事業所

会員紹介 —東北エア・ウォーター株式会社—

沿革

当社は東北地方最大の都市であり、今年伊達政宗公の生誕450年記念で賑わう都の都仙台市（宮城県）に本社があり、青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県の6県を営業エリアとして展開しています。

大同ほくさん株式会社（現エア・ウォーター株）の地域事業会社構想に基づき、平成7年6月に東北大同ほくさん株式会社として発足し、その後、平成

12年4月に社名を東北エア・ウォーター株式会社と改めました。更に平成22年4月エア・ウォーターの東北支社の事業移管を受け、現在の姿となりました。

東北地区に4ヶ所の産業・医療ガス充填所と2ヶ所のLPガス充填所を運営し、青森支店（八戸市）・八戸ガスセンター（平成26年1月移転新築）、秋田支店（潟上市）・秋田ガスセンター（昭和55年開設）、宮城支店（大郷町）・宮城ガスセンター（平成5年開設）、福島支店（本宮市）・福島ガスセンター（昭和61年開設）、生活エネルギー支店・仙台LPG工場（昭和60年開設）、いわきLPG工場（昭和38年開設）を製造拠点に高圧ガス販売を主軸としています。

エア・ウォーターグループ経営理念である「創業者精神と誇りを持って空気、水、地球、そして人にかかわる事業の創造と発展に、英知を結集する」と、行動指針である「脚下照顧・横議横行」に従い、再生し芽吹く若葉のごとく東北の産業復興を叶える力強い若葉色をシンボルカラーに地域社会への貢献に取り組んでいます。



八戸ガスセンター外観



秋田営業所外観

保安への取り組み

平成21年、仙台市の本社にてISO14001認定を取得し、エア・ウォーターグループ環境基本方針の下、各法規制・自主基準を遵守し、地球資源循環カンパニーを目指しております。

各充填所においては、安全基準に基づいた作業を徹底し、更に品質管理も3ヶ月毎に営業責任者と全ガスセンター長と合同の会議を開催し継続的改善に努めています。保安に関

しては、東北地区合同防災訓練・地震防災訓練（それぞれ年1回）、安全衛生委員会、構内安全パトロールなどを年間計画に基づき実施し、社員の意識向上に取り組んでいます。

またRFタグ装着を平成24年12月より開始し、現在約12,600個を装着運用しています。RFタグの有効性を示すデータを精査・蓄積し、普及ならびに情報発信を積極的に勧めていきます。



宮城ガスセンター外観

JIMGAとの関わり

JIMGA東北地域本部において当社は、技術保安部会の一員として参加し、各グループメンバーと東北地区の保安・安全、事故防止、災害対策等、産業・医療ガスの保安と円滑な供給体制の構築に向け活動しています。また、宮城県高圧ガス保安協会・鳥インフルエンザ防疫協力協定検討委員として、今年3月末に宮城県北で発生した鳥インフルエンザへの対応で地域貢献のため、炭酸ガス充填の協力をいたしました。

東北地区は、平成23年3月の東日本大震災を経験し日頃の保安に対する意識改革を改めて実感しました。今後震災の教訓を大いに活かし、特に医療用ガスにおける安定供給に貢献することを最優先課題と位置づけています。また、各関係省庁、JIMGA東北地域本部をはじめとする各団体との連携体制を強化し、地域の発展に寄与する所存です。



福島ガスセンター外観

(東北エア・ウォーター株式会社 代表取締役社長 高橋 稔)

ヒューストン Air Liquide Center でのISO会議について

2017年6月、ヒューストン（エア・リキード センター）で開催されたISO TC 220（超低温容器基準）会議に出席しました。

初日午前中のWG-3（関連規格）では、フレキシブルホース規格（ISO/CD 21012-2006）への各国からのコメント対応が行われました。午後からはWG-2（運用要件規格）で二つの規格の討議を行い、主に自動車用LNGタンクに関する規格（ISO 22103）が議論されました。

2日目のWG-1（設計及び構造）では、DIS（国際規格原案）段階の規格3件、CD（委員会原案）段階の規格1件に関する各国からのコメント対応が行われ、それぞれ次の段階に進められることになりました。



Houston Space Centerのスペースシャトル

最終日はTC-220の全体会議が行われ、各WGの担当規格の投票結果や進捗状況報告と共に、ISO制定ルールの変更点の説明が行われ閉会しました。

次回は、来年6月4日からパリ（AFNOR—フランス規格協会）で開催される予定です。

（技術・保安部会事務局 徳富 栄一郎）



エア・リキードセンター外観

「国際統合化(IHC)活動の紹介」を公開しました

このたび、「国際統合化(IHC)活動の紹介」をJIMGAウェブサイト公開しました。

「国際統合化活動の歴史」、「国際統合化活動の概要」、「JIMGA基準作成の流れ」、「JIMGA基準のアクセス状況」、「IOMA-Broadcaster掲載記事」の5項目から構成されています。

IOMA内に組織されたIHCの活動の概要と、IHCにおけるJIMGAの役割を紹介するとともに、JIMGA基準の作成プロセスを説明しています。当協会ウェブサイト内のバナーより、是非一度ご覧ください。



このバナーをクリック



（国際部会事務局 羽坂 智）